2021 年度　事業報告書

2022 年 5 月 31 日

社会福祉法人もえぎの会

目　　次

I.　総括　・・・　P2

II.　共通

1.　重点課題　・・・　P2

2.　苦情・相談対応　・・・　P4

3.　防災・安全対策　・・・　P5

4.　研修　・・・　P7

5.　地域・関係機関との連携　・・・　P9

III. 施設別

1.　本部　・・・　P12

2.　しいの実社　・・・　P16

3.　しいの実社　学芸大学スマイルプラザ　・・・　P21

4.　沙羅の家　・・・　P24

5.　短期入所　・・・　P27

6.　地域生活支援拠点（目黒区委託事業）　・・・　P29

I.　総括

コロナの状況は継続していたが、コロナに対する理解や対策は進展した。 もえぎの会は、当初より、支援を必要とする障害者・家族のために、詳細な情報を収集し、専門家に相談し、それらを基にスタッフ全員で考え、検討し、対策を実施してウイズコロナで、活動を継続した。日常の活動における対策の実施が長期化し、緊張感が緩む感触もあった。 そのことも影響して、短期入所の利用者が原因とみられる感染が発生し、クラスターとなった。 この経験も、今後の取り組みのために貴重な経験として捉えている。

一方で、ウイズコロナのために新しい取り組みに挑戦し、困難はあったが、大きな成果を得ることもあった。

しいの実社においては、新たな就労移行支援事業の利用者を継続して受け入れ、今後さらに利用者の確保に努める。 そのために、スタッフ体制の見直し、活動プログラムの見直しなど、運営の改善に取り組んでいる。

利用者の高齢化・重度化が進み、家族の高齢化と併せて、短期・中期・長期に分けて目標を整理し、検討を進めた。 課題は多岐に渡るため、家族の協力、外部との連携を含めてひとつひとつ解決する必要がある。

沙羅の家の運営が独立して 3 年経過し、安定運営に向けて進展した。 しかし、スタッフ退職の影響があり、業務改善は道半ばで、継続が必要な状況である。

スタッフ体制を強化し、短期入所の稼働率を向上させるとともに、夜勤体制、週末稼働体制拡大の準備を実施している。 それにより、増加する短期入所の緊急受入れに対応するとともに、地域生活支援拠点事業のさらなる充実、利用者・家族の高齢化・重度化に対応する必要がある。

II.　共通

1.　重点課題

(1) 事務局の機能の見直し

しいの実社の事務室から始まった事務局を、法人全体を司る役割を担えるよう、下記のような取り組みを行い、施設業務分担については施設間の偏りがないように調整ができた。 今後も、引き続き継続課題として定期的な見直しを行っていく。

- 沙羅の家会議への出席による課題の共有。
- 懇話会や団体連絡会等外部会議への出席。
- 沙羅の家としいの実社の施設業務分担の見直し。

（2）部門間の相互理解と情報共有

作業種が多く、それぞれの専門性の高い作業も多いことから質の異なる状況や課題を抱え、相互に行き来する難しさがある。 それぞれの状況を理解しあうためチーフ会議を中心に話し合い、情報共有と相互理解を図った。 また、理事長からの話、白鳥氏によるチームワークの研修などを実施し、相互理解と協力体制の大切さを学んだ。 異なる課題を理解し、休憩取得の改善、相互の良い点と課題点を理解していった。

（3）利用者・家族の高齢化に伴う作業環境と生産・運営体制の見直し

高齢化運営対策検討会を 10 回開催し、重度化、高齢化する利用者の変化への対応、高齢化による生産力の低下、設備の老朽化と資金繰り、などの多岐に及ぶ課題を短中長期に課題を整理し高齢者対策実行計画を作成した。 その中で送迎の検討、作業の維持とスペースの確保ための学芸大学作業室の再開、認知症サポーター講座の受講など、当年度の計画を実施し、ご家族の高齢化、外部連携など沙羅の家と協同で取り組む 2022 年度の重点課題への基礎ともなった。

（4）就労移行支援事業の利用者確保

4 月に 1 名、2 月に 1 名の新入社員を受け入れた。 それにより就労移行支援事業利用者は 3 名となった。 定員は満たしていないため、引き続き受け入れを進めている。

また、利用者の増加により、作業スペースの確保も必要になったが、PT などで検討していた学芸大学作業室の活用を進め、午前中から 2 名の社員が学芸大学店で作業できる流れを作り、実施した。

（5）沙羅の家の組織体制の整備と強化

組織体制の整備と強化として、各ユニットのチーフが参加するチーフ会議を定期に開催し、トップダウンでの運営ではなく現場スタッフが中心となって各種取り組みを進めた。 具体的な取り組みとしては、新型コロナ感染症対策として、昨年度から引き続き基本対策に加えて、来訪者入室記録、利用者・スタッフ体調管理票による健康チェックを追加し、標準化への取り組みとして、各種書式の見直し（業務日誌・サービス提供記録の１ファイル化、アセスメント表、事務作業の手順書など）や、工程・スケジュール管理の見直し（個別支援計画など）をチーフスタッフが中心となって行なった。 これらの見直ししたものを活用して 2022 年度の重点課題につなげていく。

2.　苦情・相談対応

（1）苦情・相談対応　苦情内容

		苦情内容	対応内容
4 月	しいの実社	学大店近隣住民から、自宅に駐車するために車を止めていたところ、クラクションを鳴らされ不快であったという申し出があった。	お詫びし、クラクションを鳴らしたのは少し前にずれてほしかったためであるが、次回以降はクラクションでなく直接声をかけるなど注意していく旨を、職員と確認した。
4 月	しいの実社	ご家族から利用者の朝の自宅での様子の申し送りの連絡を受けた事務局職員が、現場職員への連絡をうまく伝えることができずご家族から不安で電話をしているのに、折り返しの電話がないと苦情の連絡が入った。	事務局職員と現場職員、しいの実社施設長からお詫びの連絡を入れる。 今後事務局職員がご家族から電話を受けた時には、直接現場の職員につなぎ、事務局で判断を行わないこととした。
7 月	しいの実社	近隣のコンビニより、しいの実社利用者が購入していない商品を無断で飲食したという連絡が入った。	土曜日で責任者不在であったため、後日ご家族・しいの実社施設長と当日の担当者で改めてお詫びに伺う。当面は、一人で店に入ることのないようにヘルパーさんやご家族が送迎を行うこととした。

（2）虐待防止委員会

月日	主な内容	出席人数
4/13	3 月度の研修について、チェックリスト集計状況、体制について	委員　8 人
5/11	年間予定、チェックリスト集計結果について、事故報告について	委員　8 人
6/16	チェックリスト集計について、研修報告について、今年度研修について	委員　8 人
8/10	虐待防止研修について　日時・講師の決定	委員　8 人
9/14	2020 年度虐待防止研修報告　通報義務について　障害福祉課への連絡ケース　10/1 全体研修について	委員　7 人
10/12	10/1 全体研修について　次回研修について	委員　6 人
12/14	チェックリストの分析　10/1 全体研修報告　3/11 全体研修について	委員　8 人
1/11	チェックリスト体制整備版について、阿部美樹雄氏の研修内容について	委員　8 人
3/8	チェックリスト体制整備版分析。全体研修について。身体拘束について。	委員　8 人

3.　防災･安全対策　(担当:大野)

（1）事故

施設	転倒･転落	怪我	服薬	誤飲･誤嚥	喧嘩･紛争	器物破損	その他	計
しいの実社	0	11	6	0	8	0	5	30
学大スマイル	0	1	1	0	0	1	4	7
沙羅の家	6	2	8	0	0	0	10	26
短期入所	0	0	0	0	0	0	1	1
支援拠点	0	0	0	0	0	0	2	2
計	6	14	15	0	8	1	22	66

（2）ひやりはっと

施設	転倒･転落	怪我	服薬	誤飲･誤嚥	喧嘩･紛争	器物破損	その他	計
しいの実社	1	8	1	0	4	2	8	24
学大スマイル	1	5	0	0	1	0	6	13
沙羅の家	1	1	3	0	1	0	13	19
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0
支援拠点	0	0	0	0	0	0	1	1
計	3	14	4	0	6	2	28	57

（3）【販売に関するもの】

	異物混入	表示	品質	賞味期限	金銭	その他	計
苦情	1	0	0	0	0	0	1
事故	0	0	0	0	0	0	0
ひやり	1	0	0	0	0	0	1

（4）防災訓練（各施設長）

施設	実施日	内　　容
沙羅の家	4/29	全ユニットで、地震を想定した避難訓練、避難経路の確認、一時避難場所の確認を行った。
しいの実社	6/4	消火器設置場確認・消火器の使用訓練を行った。
沙羅の家	11/23	災害時における一時的な緊急避難場所を確認し、円滑な避難ができるよう訓練を行った。
しいの実社スマイルプラザ	12/15	スマイルプラザ合同避難訓練を行った。
しいの実社スマイルプラザ	3/29	スマイルプラザ合同避難訓練を行った。
しいの実社	3/31	消火器の使用訓練を行った。

（5）安全・衛生委員会(担当：事務局)

月日	主な内容	出席人数
9/14	新型コロナウイルス感染症で仕事を休む場合の確認。 BCP 作成について	7 人

（6）（特記）新型コロナウイルス感染症対応

しいの実社・沙羅の家において、感染症拡大防止対策を実施し、利用者・職員の健康観察・記録は継続して行ってきた。 しかし、2 月に短期入所の利用者に端を発したクラスターが発生し、換気の強化や定期的な検査など取り組みをさらに強化した。

① ワクチン接種

しいの実社において、嘱託医により接種を行った。 なお、職員は健康診断を実施しているシグマクリニックにて 1・2 回目の接種を行った。

7 月 15 日　利用者 35 名　職員 1 名(1 回目)
8 月 5 日　利用者 35 名　職員 1 名(2 回目)
3 月 3 日　利用者　10 名　職員 4 名(3 回目)
3 月 17 日　利用者 17 名　職員 2 名(3 回目)

② PCR スクリーニング検査

沙羅の家職員に対して、2 月のクラスター発生を受け東京都の事業を利用して、週 1 回の PCR スクリーニング検査を実施した。

しいの実社職員に対しては、同じく東京都の事業を利用し抗原定性検査を行った。

研 修

（1）外部研修

実施日	施設名	研修名	実施主体	参加人数
6/1	沙羅の家	生きるのに理由はいるの？「津久井やまゆり園事件」が問いかけたものは、、、	東京都障害者通所活動施設職員研修会	1 人
	しいの実社			2 人
6/7	しいの実社	はじめて社会福祉を学ぶ職員のためのスタートアップ研修	東京都社会福祉協議会	1 人
6/11	しいの実社	新任職員向け研修	東京都社会福祉協議会	1 人
6/17	しいの実社	障害者虐待防止法の理解と虐待事案について	東京都社会福祉協議会	1 人
7/3	しいの実社	利用者さんが飲んでいる精神薬を知ろう	東社協　知的発達部会	1 人
7/28	しいの実社	発達障害（自閉症）をとらえなおす	東京都障害者通所活動施設職員研修会	1 人
7～12 月 4 日間	しいの実社	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	東京都福祉保健財団	4 人
	沙羅の家			1 人
8/27	事務局	給付費請求業務の基礎知識	都社協　知的発達部会事務スタッフ会	1 人
8/2・30・31、9/14	しいの実社	虐待防止・権利擁護研修	東京都福祉保健財団	1 人
9/22	沙羅の家	with コロナ時代の支援 ～みんなで語ろう　これからの支援～	東京都障害者通所活動施設職員研修会	1 人
10/1、11/1	沙羅の家	障害者グループホーム従事者基礎研修	東京都福祉保健財団	6 人
11/10～ （全 5 日間）	沙羅の家	サービス管理責任者基礎研修	東京都福祉保健局	1 人
11/17・12/1	沙羅の家	リーダー研修	東社協知的発達部会	1 人
11/19	沙羅の家	管理職研修（メンタルヘルス）	東社協知的発達部会	1 人
1/12～ （全 7 日間）	沙羅の家	東京都相談支援従事者初任者研修	東京都福祉保健局	1 人
1/26	沙羅の家	ライフステージに沿った個別支援計画を考える　～超高齢社会に求められる支援計画～	東京都障害者通所活動施設職員研修会	2 人

2/2･7･24	しいの実社・沙羅の家・事務局	サービス管理責任者更新研修	東京都福祉保健局	3 人
2/8･24	しいの実社 沙羅の家	認知症サポーター研修	目黒区包括支援センター	20 人
2/9	沙羅の家	初任者研修（キャリアパス対応）		1人
3/6･29	沙羅の家・事務局	相談援助実習　実習指導者講習会	髙崎福祉医療カレッジ・東京都社会福祉士会	2 人

（2）内部研修

実施日	施設名	研修内容	対象者	講師
4/19	しいの実社・学大スマイル	自閉症とともに、自閉症の人が求める支援	新入職員	施設長
6/25		常勤職員事務局の確認	1～2 年目職員	施設長
6/28･30･7/19		てんかんについて、施設における虐待の構図について	2～9 年目職員 10 年以上職員	施設長
7/26･29		疑似体験・動画視聴	2～9 年目職員 10 年以上職員	施設長
8/19･26･27		疑似体験・障害特性	1～2 年目職員 2～9 年目職員 10 年以上職員	施設長
10/1	法人全体	虐待防止研修	全スタッフ	(福)同愛会 竹矢　恒氏
12/20	しいの実社・学大スマイル	障害・感覚過敏の理解（疑似体験）	2～9 年目職員	しいの実社 施設長
1/13		障害・感覚過敏の理解（疑似体験）	2 以内年目職員	しいの実社 施設長
3/11	法人全体	虐待防止研修	全スタッフ	(福)みずき福祉会 阿部美樹雄氏

4.　地域・関係機関との連携（事務局）

（1）実習・体験・見学

実施日	受入施設名	実習・見学等依頼先	人数
4/13・8/10・8/24・9/8・11/25・1/19・2/7・3/14	しいの実社	見学。特別支援学校生保護者・生徒将来の進路選び	13 人
5/24-28・7/26-30	学大スマイル	アセスメント	2 人
6/14 - 18	学大スマイル	利用者実習	1 人
7/2	しいの実社	見学。馬主協会（助成金申請）	2 人
7/28	しいの実社	見学。田園調布特別支援学校進路担当	1 人
8/16 - 20	しいの実社	利用者実習	1 人
6/7 - 9/10	しいの実社	東洋英和女学院大学　保育士実習	3 人
9/10	しいの実社	ボランティア希望	1 人
10/18	しいの実社	後援会員　施設見学	3 人
11/15・12/8	しいの実社	求人関係　施設見学	1 人

（2）相談支援事業所利用実績

事業所名	たんぽぽ	あいアイ館	リタリコ	目黒相談支援センター	架け橋	ケアプラン	その他	他区	なし	合計
人数	24	13	8	8	2	2	4	2	1	64

（3）広報紙「萌木」の発行　（事務局）

① 対象者　　行政、議会、学校、関係機関、利用者、家族、ボランティア、後援会会員等

② 発行時期　4 月、10 月

③ 発行部数　750 部

④ 内容　　【4 月号】

- 巻頭文：副区長　荒牧氏
- 2021 年度事業計画
- クッキーリニューアル
- 第 19 回　ウイズコロナのリモートしいの実祭報告

- 後援会会員インタビュー
  浦安皮膚科、伊庭工務店、白川電機製作所
- 沙羅の家　生活状況、祝日イベント報告

【10 月号】
- 巻頭文：目黒区健康福祉部　長崎氏
- クッキーリニューアルキャンペーン報告
- ワクチン接種報告
- 事業報告会恒例コンサート報告
- 東京オリンピック・パラリンピック体験報告
- 後援会会員インタビュー
  ㈱南雲、ピーチベルクリニック、東工電機製作所
- 沙羅の家　週末宿泊体験、短期入所状況報告

（4）通信「しいの実通信」の発行

①. 対象者　　利用者、家族
②. 発行時期　　5 月、10 月、1 月
③. 発行部数　　70 部
④. 内容　　5 月
- 巻頭文：業務課長挨拶
- 利用者紹介
- スタッフ紹介（新規採用）
- 部門別スタッフ紹介
- 新製品紹介

10 月
- 巻頭文：施設長挨拶
- 看護師より
- 新型コロナウイルス対策について

1 月
- 巻頭文：理事長・施設長
- リモートしいの実祭報告
- ハッピージャパンプロジェクトの寄付報告
- 各部門チーフより

（6）後援会だよりの発行（発行　後援会）

① 対象者　　後援会員

② 発行時期　　4 月、10 月

③ 発行部数　　600 部

④ 内容　　【4 月号】

- 巻頭：会長挨拶
- 沙羅の家　改修工事
- 第 19 回　しいの実祭報告
  ~ウイズコロナのリモートしいの実祭～

【10 月号】

- 巻頭：会長挨拶
- 後援会入会キャンペーン
- 2020 年度収支決算報告／2021 年度収支予算
- 利用者のためのコンサート開催

（7）事業報告会

代替案として、クッキーリニューアルキャンペーンを銘打ったカタログ販売と、利用者向けのお楽しみ企画として、コンサートを行った。

しいの実社カタログ販売

実施月日	6 月 18 日～8 月 13 日
送　付　先	後援会員および法人関係者
実 績 金 額	860,100 円（うち寄付 454,200 円）

利用者向け企画として MGK(ムジークガルテン・クロキ)の協力により、コンサート実施

実施月日	7 月 17 日(土)
実 施 場 所	目黒本町社会教育館
参　加　者	社員 30 人・スタッフ 9 人

III.　施設別

1.　本部

法人総務を司る役割を担うべく、両施設の施設事務の偏りがないよう見直しを行った。

沙羅の家の各種会議に参加し、情報と課題の共有を図った。しいの実社内にあるが、今後も引き続き法人全体を見渡す視野をもてる事務局を目指す。

（1）スタッフの異動

	本部					しいの実社				
	4/1	退職	異動	採用	現員	4/1	退職	異動	採用	現員
正　規	2	0	0	0	2	14	3	0	2	13
契　約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パート	6	0	0	0	6	5	0	0	0	5
計	8	0	0	0	8	19	3	0	2	18

	しいの実社学芸大学スマイルプラザ					沙羅の家				
	4/1	退職	異動	採用	現員	4/1	退職	異動	採用	現員
正　規	5	1	0	1	5	18	3	+1	4	20
契　約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パート	9	0	0	1	10	10	0	-1	0	9
計	14	1	0	2	15	28	3	0	4	29

	合　計				
	4/1	退職	異動	採用	現員
正　規	39	7	＋1	7	40
契　約	0	0	0	0	0
パート	30	0	-1	1	30
計	69	7	0	8	70

（2）会議運営

①　理事会

開催日	主な内容	出席人数
5/25	2020 年度事業報告、2020 年度決算報告、役員候補者の選任、評議員選任解任委員会の開催、評議員候補者の選任、評議員会開催	理事 7 人 監事 2 人
6/15	理事長の選任	理事　7 人 監事　2 人
10/26	理事長業務執行報告、2021 年度上半期事業実績・補正予算、評議員候補者の選任、第 2 回評議員会の開催、評議員選任解任委員会の開催	理事　7 人 監事　2 人
3/1	2022 年度事業計画、2022 年度予算、積立金計上、ランチ委託業者選定、規則・規程変更、評議員会開催	理事　7 人 監事　1 人

②　評議員会

開催日	主な内容	出席人数
6/15	2020 年度事業報告、2020 年度決算報告	評議員 6 人 監事　1 人
11/16	2021 年度上半期事業報告、2021 年度補正予算	評議員 8 人 監事　1 人
3/22	2022 年度事業計画、2022 年度予算	評議員 7 人 監事　1 人

③　評議員選任解任委員会

開催日	主な内容	出席人数
6/15	評議員の決定	理事長、委員 4 名
11/2	評議員の決定(1 名)	理事長、委員 4 名

④　後援会（役員会）

開催日	主な内容	出席人数
6/1	活動内容の確認、事業報告代替案検討	役員 2 人 運営委員 10 人
9/7	カタログ販売報告、広報進捗報告、リモートしいの実祭検討状況	役員 5 人 運営委員 10 人
12/2	リモートしいの実祭報告、会員募集状況等確認	役員 3 人 運営委員 9 人
3/1	もえぎの会 2022 年度計画案、後援会 2022 年度計画案、会員募集状況、広報進捗確認	役員 4 人 運営委員 11 人

⑤　後援会（運営委員会）

開催日	主な内容	出席人数
4/8	事業報告会について、年間予定について	運営委員 11 人
5/11	総会、懇親会について	運営委員 8 人
7/6	クッキーカタログ発送について、しいの実祭について	運営委員 10 人
8/3	会員募集状況、コロナウイルス感染症状況、しいの実祭検討	運営委員 8 人
10/5	リモートしいの実祭について、広報発送について	運営委員 10 人
11/2	リモートしいの実祭について(当日の運営確認)	運営委員 10 人
1/11	リモートしいの実祭報告、広報進捗状況、他	運営委員 8 人
2/1	会員募集状況、広報誌発行計画	運営委員 9 人

⑥　幹部会

開催月	主な内容
4 月	第 1 回理事会（議案・スケジュール等）、夏季休暇について、事業報告会について
5 月	2021 年度事業報告、決算について。重点課題の確認。
6 月	評議員会・事業報告について。
7 月	(ZOOM)コロナウイルス感染症対応について。
8 月	休暇制度の廃止について。各部門より。
9 月	理事会について。各部門より。
10 月	理事会について。各部門より。
11 月	理事長より。評議員会について。各部門報告・重点課題の確認。
12 月	リモートしいの実祭報告。重点課題報告。しいの実社定員変更について。
1 月	理事長より。部課長意見交換。各部門報告・重点課題報告。2022 年度事業計画について。
2 月	(ZOOM)コロナウイルス感染症発生状況について。理事会・事業計画について　パンの保育園注文対応について
3 月	コロナウイルス感染症クラスター発生の振り返り。理事長より。各部門より。

2. しいの実社

マスクの装着の徹底が難しい、こだわりがあるなどの行動の特徴がある利用者の方が感染し、感染力の強いオミクロン株により急速に感染が広がり 2 月にクラスターが発生した。幸いにも重症化したかたはいらっしゃらなかったが、利用者の方の行動特性を踏まえ対策を検証し、改めて感染対策を追加している。

（1）利用者状況（障害別・性別・年代別）

種別等		生活介護	就労継続 B	計
性別	男	18 人	7 人	25 人
	女	6 人	2 人	8 人
	計	24 人	9 人	33 人
年代別	10 代	0 人	0 人	0 人
	20 代	0 人	1 人	1 人
	30 代	8 人	3 人	11 人
	40 代	7 人	1 人	8 人
	50 代	9 人	4 人	13 人
	60 代	0 人	0 人	0 人
	70 以上	0 人	0 人	0 人
	計	24 人	9 人	33 人
愛の手帳	2 度	13 人	2 人	15 人
	3 度	10 人	4 人	14 人
	4 度	1 人	3 人	4 人
	計	24 人	9 人	33 人
障害支援区分	未判定	0 人	0 人	0 人
	区分 1	0 人	0 人	0 人
	区分 2	0 人	0 人	0 人
	区分 3	0 人	4 人	4 人
	区分 4	14 人	2 人	16 人
	区分 5	7 人	3 人	10 人
	区分 6	3 人	0 人	3 人
	計	24 人	9 人	33 人

（2）利用状況

				2021 年度	2020 年度	2019 年度
生活介護	開所日数	土曜開所	有	251	248	250
			無	241	242	239
	延べ利用人数	土曜開所	有	5877	5837	5741
			無	5732	5749	5543
	平均利用人数／日	土曜開所	有	23.4 人／日	23.5 人／日	23 人／日
			無	23.8 人／日	23.8 人／日	23.2 人／日
	出社率	土曜開所	有	97.6%	94.1%	114.8%
			無	99.1%	95.0%	116.0%
就労継続B	開所日数	土曜開所	有	251	248	250
			無	241	242	239
	延べ利用人数	土曜開所	有	2167	2288	2236
			無	2108	2250	2181
	平均利用人数／日	土曜開所	有	8.6 人／日	9.2 人／日	8.9 人／日
			無	8.7 人／日	9.3 人／日	9.1 人／日
	出社率	土曜開所	有	95.9%	92.3%	89.4%
			無	97.2%	93.0%	91.3%

＊2020 年実績より、出社率の母数を定員から実人員に変更

（3）利用者工賃

単位：円

		給料（賞与含む）	1 人当たり	
			年額	月額
2021 年度	生活介護	6,571,870	273,827	22,818
	就労継続 B	2,324,780	258,308	21,525
2020 年度	生活介護	6,483,650	270,152	22,512
	就労継続 B	2,451,980	245,198	20,433
2019 年度	生活介護	7,251,670	302,153	25,179
	就労継続 B	2,870,520	260,956	25,862

（4）販売　　単位：円

年度		店　舗			施設外販売		計
		しいの実社	学芸大学	さんまるしえ	イベント	区役所	
2021	営業日	235 日	235 日	298 日	2 日	19 日	789 日
	売上額	5,337,501	14,006,630	2,915,310	1,425,100	648,080	24,332,621
	平均日額	22,712	59,602	9,782	712,550	34,109	30,839
2020	営業日	241 日	241 日	297 日	2 日	13 日	794 日
	売上額	5,260,200	12,456,480	3,100,920	846,570	456,760	22,120,930
	平均日額	21,827	51,687	10,441	423,285	35,138	27,860
2019	営業日	237 日	237 日	294 日	33 日	24 日	825 日
	売上額	4,462,322	13,906,590	3,398,800	2,606,171	1,036,955	25,410,838
	平均日額	18,828	58,677	11,560	78,974	43,206	30,801

（5）土曜日開所プログラム

実施日	主な内容	参加人数
4/17	映画鑑賞・昼食会（弁当）	社員 30 人、スタッフ 6 人
5/1	中止	
6/20	映画鑑賞・昼食会（弁当）	社員 28 人、スタッフ 6 人、実習生1
7/24	映画鑑賞・昼食会（弁当）	社員 29 人、スタッフ 6 人
8/21	映画鑑賞・昼食会（弁当）	社員 29 人、スタッフ 6 人、実習生1
9/18	映画鑑賞・昼食会（弁当）	社員 25 人、スタッフ 6 人
10/16	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 28 人、スタッフ 7 人
12/19	映画鑑賞・昼食会(モスバーガー)	社員 36 人、スタッフ 7 人、ボランティア他 6 名
1/22	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 29 人、スタッフ 6 人
2/19	中止	
3/19	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 31 人、スタッフ 5 人

（6） 年間行事

- 宿泊研修旅行→八芳園食事会

実施月日	1 月 7 日(金)･21 日(金)･28 日(金)
実施場所	八芳園 例年の宿泊研修旅行の代案として 3 回に分けて企画･実施。 マイクロバスや社用車を使用し、密を避け感染症対策を徹底した上で実施した。和洋食のメニューどちらかを選ぶ形式とした。
参加者	社員 52 人･スタッフ 24 人

- しいの実祭

実施月日	11 月 27 日(土)
実施内容	前年に引き続き、カタログ販売を中心に企画した。 利用者は 20 周年を振り返るもえぎの会の歩みの DVD 鑑賞や、買い物など通常の作業を基本に、お祭りメニューランチなどイベントを味わえる企画を盛り込んだ。外の近隣の白川電機様駐車場などで感染対策を徹底しながら製品販売やカタログ注文品の受け渡しなどを行った。 カタログと当日の販売を併せた実績は例年を上回るものとなった。
参加者	社員 50 人･スタッフ 35 人･ボランティア 2 人　 合計参加者 87 人

（7）家族会

	月日	出席人数	主な内容
第１回	4/12	28 人	(2 部制)スタッフ体制･理事長より･年間計画について
第２回	7/5	23 人	同上　スタッフ体制･部門等報告･健康診断
第３回	10/4	25 人	同上　スタッフ体制･しいの実祭について
第４回	1/24	18 人	同上　スタッフ体制･理事長より･個別支援計画
第５回	3/7	20 人	同上　2021 事業計画概要等

（8）スタッフ会議

① 運営会議

	主な内容
4/21	ZOOM 施設長より、業務課長より、第 3 者評価について、
6/22	ZOOM 施設長より、2020 年度事業報告、虐待防止、部門報告
8/17	ZOOM 事務局(夏季休暇について)、コロナ対策、旅行について、研修
10/19	理事会、助成金、家族会について 虐待防止研修について
12/20	社員旅行について、重点課題について、利用者対応について
3/31	年間予定について、担当について

② チーフ会議

	主な内容
4/23	カタログ販売について
5/19	事業計画について、白鳥氏研修、カタログ企画について
7/20	白鳥氏研修、カタログ企画検討
9/21	理事長より、休憩の取り方の検討
11/2	部門間の相互理解を深める検討、休憩について、しいの実祭について
1/19	重点課題(送迎、ご家族の高齢化、部門間の相互理解)の検討、定員変更

3.　しいの実社学芸大学スマイルプラザ

実習の受け入れや就労移行の利用者の受け入れが進み、特別支援学校との連携も進んだ。 利用者数が増加したことで、学大ショップとの連携や学芸大学の活用が進んだ。また、認知症が発症するなど高齢化対策について定期的な会議の開催や研修とともに実践的な対応を重ねた。

（1）利用者状況（障害別・性別・年代別）

種別等		就労継続B	就労移行	計
性別	男	13 人	2 人	15 人
	女	7 人	1 人	8 人
	計	20 人	3 人	23 人
年代別	10 代	0 人	0 人	0 人
	20 代	8 人	1 人	9 人
	30 代	3 人	2 人	5 人
	40 代	3 人	0 人	3 人
	50 代	2 人	0 人	2 人
	60 代	0 人	0 人	0 人
	70 以上	4 人	0 人	4 人
	計	20 人	3 人	23 人
愛の手帳	2 度	6 人	0 人	6 人
	3 度	10 人	1 人	11 人
	4 度	4 人	2 人	6 人
	計	20 人	3 人	23 人
障害支援区分	未判定	0 人	2 人	2 人
	区分 1	0 人	0 人	0 人
	区分 2	2 人	0 人	2 人
	区分 3	8 人	0 人	8 人
	区分 4	10 人	1 人	11 人
	区分 5	0 人	0 人	0 人
	区分 6	0 人	0 人	0 人
	計	20 人	3 人	23 人

（2）利用状況

				2021 年度	2020 年度	2019 年度
就労移行	開所日数	土曜開所	有	251	249	250
			無	241	241	239
	延べ利用人数	土曜開所	有	457	139	75
			無	453	138	75
	平均利用人数／日	土曜開所	有	1.8 人／日	0.5 人／日	0.3 人／日
			無	1.9 人／日	0.5 人／日	0.3 人／日
	出社率	土曜開所	有	84.3%	50%	30%
			無	87.0%	57%	31%
就労継続B	開所日数	土曜開所	有	251	249	250
			無	241	241	239
	延べ利用人数	土曜開所	有	4805	4770	4563
			無	4721	4734	4482
	平均利用人数／日	土曜開所	有	19.1 人／日	19.1 人／日	18.3 人／日
			無	19.6 人／日	19.6 人／日	18.8 人／日
	出社率	土曜開所	有	95.7%	95.5%	91.3%
			無	97.9%	98%	93.8%

＊2020 年実績より、出社率の母数を定員から実人員に変更

（3）利用者工賃

	事業名	総支給額（賞与含む）	1 人当たり	
			年額	月額
2021 年度	就労移行	411,750	190,625	15,885
	就労継続B	5,000,600	250,030	20,835
2020 年度	就労移行	87,000	87,000	12,429
	就労継続B	5,174,650	258,733	21,561
2019 年度	就労移行	166,310	166,310	13,859
	就労継続B	5,821,420	291,071	24,256

（4）販売

※しいの実社に記載

（5）土曜日開所プログラム

※しいの実社と同様

（6）年間行事

① 宿泊研修旅行・② 日帰り研修旅行

※しいの実社と同様、八芳園外出を実施

（7） 家族会

※しいの実社と同様

（8）スタッフ会議

① 運営会議

※しいの実社と同様

② チーフ会議

※しいの実社と同様

4.　沙羅の家

2021 年度は、4 月に沙羅の家清水 B 利用者の入居手続きが完了し、定員 38 名満室での運営となった。 法人としての課題でもある高齢化・重度化は沙羅の家でも顕著になり、利用者の通院や通所送迎にかかるスタッフ支援や日中支援が増え、担当ケアマネージャーやかかりつけ医などと連携した支援がより必要となっている。 また、障害支援区分でみると、2020 年度との比較では、最重度の「区分 6」が 2 名から 4 名（2 名増）、「区分 5」が 6 名から 8 名（2 名増）と重度化も進んでいることが数字からもうかがえる。

重点課題の取組みに関しては、チーフ会議を新たに創設し、業務分担表を作成して責任の明確化をすることで、現場スタッフと共に課題解決に向けて取組みを進めた。2022 年度も引き続き取り組みを進めていく。

10 月からは清水 A ユニットの週末利用が可能となり、併設の短期入所の利用の拡大にも繋がった。

昨年度から引き続き新型コロナ感染症の予防対策を徹底して運営を行ったが、1 月に 2 名（利用者 1 名、職員 1 名）、2 月に 15 名（利用者 11 名、職員 4 名）の陽性者が発生し、一時グループホームの運営を縮小することになった。 幸い軽症で済んだが改めて感染予防の難しさを痛感することとなった。 2 月のクラスター発生を受けて定期的に全職員への PCR スクリーニング検査を実施することで陽性者の早期発見ができるよう努めた。

（1）　利用者状況

①　性別・年代別

性　別			年　代　別							
男	女	計	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 以上	計
32 人	6 人	38 人	0 人	0 人	6 人	9 人	15 人	4 人	4 人	38 人

②　障害種別等

愛の手帳				障害支援区分					
2 度	3 度	4 度	計	2	3	4	5	6	計
15 人	15 人	8 人	38 人	1 人	6 人	19 人	8 人	4 人	38 人

③　居住年数

居住年数					
1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上	計
0 人	8 人	11 人	7 人	12 人	38 人

（2）　年間行事（外出プログラム）

実施日	施設	内　　容	参加人数
9/23	沙羅の家	散歩（清水池公園）	6 名
9/23	沙羅の家向原	散歩（林試の森）・ランチうどん作り	7 名
9/23	沙羅の家大岡山	GH でランチ	6 名
9/23	沙羅の家清水 A	GH でランチ（パスタ）	7 名
9/23	沙羅の家清水 B	GH でランチ（カレー）	6 名
9/23	沙羅の家清水 C	GH でランチ（お寿司）	5 名
11/3	沙羅の家	散歩（洗足図書館）	6 名
11/3	沙羅の家向原	散歩とランチ pizza 作り	7 名
11/3	沙羅の家大岡山	散歩（洗足池・図書館など各自で）	5 名
11/3	沙羅の家清水 A	GH でランチ （ロイヤルホストのテイクアウト）	7 名
11/3	沙羅の家清水 B	GH でランチ	6 名
11/3	沙羅の家清水 C	GH でランチ	4 名
11/23	沙羅の家	選べる弁当ランチ	6 名
11/23	沙羅の家向原	散歩（林試の森）とランチうどん作り	7 名
11/23	沙羅の家大岡山	散歩（東工大）とランチ餃子	6 名
11/23	沙羅の家清水 A	GH でランチ（釜飯）	6 名
11/23	沙羅の家清水 B	GH でランチ	6 名
11/23	沙羅の家清水 C	GH でランチ	5 名
2/23	沙羅の家	ステーキ丼ランチ	6 名
2/23	沙羅の家向原	Pizza ランチ	7 名
2/23	沙羅の家大岡山	テイクアウト豪華弁当ランチ	6 名
2/23	沙羅の家清水 A	GH でランチ（お寿司）	6 名
2/23	沙羅の家清水 B	GH でランチ（お寿司）	4 名
2/23	沙羅の家清水 C	GH でランチ（お寿司）	6 名

（3）　家族会

感染症拡大予防のため、書面による報告のみ実施。

（4）　スタッフ会議

①運営会議

	内　　容
4 月	2021 年度授業計画の説明、新年度の確認、虐待防止法の説明
6 月	チーフ会議の報告、コロナ対策と予定について、ワクチン接種について
8 月	チーフ会議の報告、ヒヤリハット・事故報告の共有、
10 月	チーフ会議の報告（業務分担表、ケース記録について）、職員体制について
12 月	チーフ会議の報告（アセスメントシート、手順書について）、年末年始の確認
2 月	新型コロナ感染症対策について、家族会について

②　チーフ会議

	内　　容
4 月	チーフ会議設置の趣旨説明、今後の進め方の確認、各ユニットの課題共有
5 月	今年度の検討事項について
7 月	コロナ対策について、個別支援計画について
8 月	業務分担表の作成の準備、各ユニット共通課題の検討（休憩の取り方・振替休日）
9 月	業務分担表の作成、ケース記録の導入について、緊急連絡網の作成
10 月	2 チームで取り組み（①アセスメントシート作成、②手順書（事務処理など）作成）
11 月	チーム作業の進捗報告、年末年始の確認
12 月	来年度に向けた準備（週末の利用、夜勤体制）、研修会（認知症サポーター養成講座）について
3 月	新型コロナ感染症対策について、重点課題の振り返り、来年度の確認

5. 短期入所

2020 年度に引き続き、コロナ禍ではあったが、短期入所の利用を控える方は少なく、利用率は昨年度よりも 1～2 割上がっている。 2 月に沙羅の家清水でクラスターがあった際は、利用の受け入れを控えた。

2021 年度は、緊急のための受け入れや週末利用の受け入れを拡大したことで利用率が上がった要因といえる。 また、男女ともに、定期利用する方は、増えている。 昨年度に引き続き、男性の新規利用者は増え、緊急時に備えて、体験利用をする方も増えている。

（1） 利用実績

月	利用の種類	利用人数（人）			利用日数（日）			利用率（%）	
		男	女	計	男	女	計	男	女
4 月	体験	7	6	13	12	13	25	40%	43%
	緊急	0	0	0	0	0	0	0%	0%
	計	7	6	13	12	13	25	40%	43%
5 月	体験	4	4	8	9	11	20	29%	35%
	緊急	0	0	0	0	0	0	0%	0%
	計	4	4	8	9	11	20	29%	35%
6 月	体験	7	6	13	17	14	31	57%	47%
	緊急	3	2	5	7	3	10	23%	10%
	計	10	8	18	24	17	41	80%	57%
7 月	体験	7	3	10	15	9	24	48%	29%
	緊急	0	1	1	0	2	2	0%	6%
	計	7	4	11	15	11	26	48%	35%
8 月	体験	6	6	12	12	16	28	39%	52%
	緊急	0	1	1	0	4	4	0%	13%
	計	6	7	13	12	20	32	39%	65%
9 月	体験	5	7	12	11	19	30	37%	63%
	緊急	0	1	1	0	2	2	0%	7%
	計	5	8	13	11	21	32	37%	70%
10 月	体験	5	5	10	11	15	26	35%	48%
	緊急	1	1	2	3	2	5	10%	6%
	計	6	6	12	14	17	31	45%	55%
11 月	体験	4	5	9	10	12	22	33%	40%
	緊急	1	1	2	2	3	5	7%	10%
	計	5	6	11	12	15	27	40%	50%

12 月	体験	6	5	11	13	15	28	42%	48%
	緊急	0	3	3	0	9	9	0%	29%
	計	6	8	14	13	24	37	42%	77%
1 月	体験	2	5	7	4	15	19	13%	48%
	緊急	2	0	2	4	0	4	13%	0%
	計	4	5	9	8	15	23	26%	48%
2 月	体験	1	2	3	1	5	6	4%	18%
	緊急	2	0	2	6	0	6	21%	0%
	計	3	2	5	8	4	12	29%	14%
3 月	体験	9	5	14	19	14	33	61%	45%
	緊急	1	2	3	2	5	7	6%	16%
	計	10	7	17	21	19	40	68%	61%
計	体験	70	65	135	134	158	292	37%	43%
	緊急	10	12	22	24	30	54	7%	8%
	計	80	77	157	158	188	346	43%	52%

（2）利用者の障害種別　　単位　人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
知的	13	8	18	11	12	13	12	11	14	9	5	17	143
身体	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
精神	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	8	19	11	13	13	12	11	14	9	5	19	147

（3）緊急利用の理由

レスパイト	9 件
冠婚葬祭	0 件
介護者の通院・入院等	9 件
家族との一時的分離	1 件
その他	3 件

6.　地域生活支援拠点（目黒区委託事業）

2021 年度は、昨年度に引き続きコロナ禍という事もあり、本人の意向を踏まえ、配慮しながらの相談対応をした。

「見守り・家庭訪問・付き添い」の支援は、昨年度と変わりない状況であった。 相談件数は、昨年度より 2 割程度増えている。 短期入所の相談件数は、昨年度に比べ倍になっている。 また、緊急の短期入所利用の依頼により、それに関わる連絡・相談等が増えている。昨年度に比べ、短期入所の受け入れが充実したことにより、受け入れに調整する時間も短縮され、受け入れ可否の判断がしやすくなっている。

（1）相談・支援件数　　単位　人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	実人数	33	21	29	26	24	29	38	19	22	35	38	29	343
	延人数	74	38	111	70	60	128	84	54	64	91	77	85	936
支援	実人数	9	9	11	11	8	9	12	6	8	6	11	10	110
	延人数	26	19	51	34	32	73	31	29	24	26	35	34	414

（2）相談者の障害種別

種別	身体	知的	精神	児童	その他	重複	不明	合計
人数	2	353	43	15	8	1	4	413

※障害種別は本人・家族のみを対象としている。

※その他には、アルコール依存症の方からの相談が含まれている。

（3）主な相談内容

	主な内容	件数
1	緊急対応	96
2	短期入所	396
3	体調	155
4	福祉サービス	320
5	日常生活	200
6	金銭管理	45
7	家族関係	90
8	人間関係	12
9	職場施設	142
10	近隣関係	17
11	その他	333
	合計	1806

（4）主な支援内容

	主な内容	件数
1	緊急対応	39
2	安否確認	5
3	見守り	2
4	家庭訪問	3
5	付き添い	10
6	傾聴助言	637
7	相談継続	79
8	紹介	1
9	その他	487
	合計	1275

（5）研修

実施日	研修名	実施主体	参加数
6/12（火）	第 1 回都通研研修会、生きるのに理由はいるの？	東京都障害者通所活動施設職員研修会	1 名
8/19(木) 20(金) 9/22（水）	令和 3 年度東京都障碍者虐待防止権利擁護研修	公益財団法人東京都福祉保健財団	1 名
9/3（金）	ひきこもりの現状と支援について考える	目黒区	2 名
9/16（木）	あなたの身近にいる発達障害～理解と対応～	目黒区発達支援拠点ぽると	1 名
9/22（水）	第 3 回都通研「コロナ禍の支援について」	東京都障害者通所活動施設職員研修会	1 名
10/22(金)	ハラスメント防止研修	社会風刺法人福利厚生センター	1 名
11/10（水）	東社協知的発達障害部会研修会「SDGs×福祉」	知的発達障害部会・共生社会研究特別委員会主催	1 名
12/3(金)	高次脳機能障害サポーター養成研修	目黒区高次脳機能障害支援センター	2 名
12/17(金）	強度行動障害メディカルセミナー	公益財団法人東京都福祉保健財団	1 名
1/13(木) 2/14(月)	サービス管理責任者更新研修	東京都心身障害者福祉センター	1 名
2/8(火)	認知症サポーター研修	目黒区東部包括支援センター	5 名
12 月～2 月	相談支援専門員初任者研修（全〇回）	東京都心身障害者福祉センター	1 名
3/28、 29(月,火)	社会福祉士実習指導講習会	専門学校高崎福祉医療カレッジ	1 名

（6）見学

・4/5(月)　　訪問看護ステーション・ハートフル・渡辺氏

・4/14(水)　　目黒区障害施策推進課　計画推進係　山崎係長、宮下氏

しいの実社